

浦河町社協だより

ゆうなぎ

安心して生活できる

町づくりを目指して

2025.9 No.43



令和7年度「地域貢献事業」によるゴミ拾いの様子

・浦河町社会福祉協議会事業計画／新役員体制	・・・・・・・・	1
・令和6年度決算／令和7年度予算	・・・・・・・・	2
・生活支援体制整備事業”うらさん”情報局	・・・・・・・・	3
・ボランティアセンターの活動	・・・・・・・・	4
・赤い羽根共同募金の活動	・・・・・・・・	5
・フードドライブの実施／わかもの就労支援「こんぱす」の活動	・・・・・・・・	6
・社会福祉事業へのご寄付／脳トレコーナー	・・・・・・・・	7

～この社協だよりは、共同募金の配分金の一部が使われています～

令和7年度事業計画

1、法人運営事業 ・会議の開催（理事会、評議員会、監査等） 2、要援護世帯の把握、各関係機関等との連携 ・サービス利用者世帯表の作成等 3、地域福祉ネットワークづくり 4、地域、在宅福祉情報の提供 ・広報誌「ゆうなぎ」の発行 ・ホームページの開設（3月移設） https://sites.google.com/view/urakawa-syakyo 5、心配ごと相談事業の実施 6、介護保険サービス事業の実施 ・訪問介護 ・通所介護 ・居宅介護支援 7、地域支援事業（総合事業）の実施 ・訪問型 ・通所型 8、障がい福祉サービス事業の実施 9、高齢者生活支援等事業の実施（受託事業） ・給食サービス事業 ・電話サービス事業 ・軽度生活支援サービス事業	10、地域福祉の拠点づくり 11、ボランティア活動等の推進 12、地域生活支援体制整備事業の実施 13、託老事業「愛の会」の支援 14、地域・在宅福祉サービスを担うマンパワー育成 15、日常生活自立支援事業の実施 16、わかもの就労支援事業の実施 17、自立と社会参加活動の推進（団体業務事務） ・老人クラブ連合会 ・老人と共に歩む会 ・浦河町共同募金委員会 18、その他の事業 ・赤い羽根共同募金事業 ・生活福祉資金貸付事業 ・浦河町母子等福祉資金貸付事業 ・日常生活用具（福祉機器）貸出事業 ・リサイクル事業（プラタブ・古切手等）
---	--

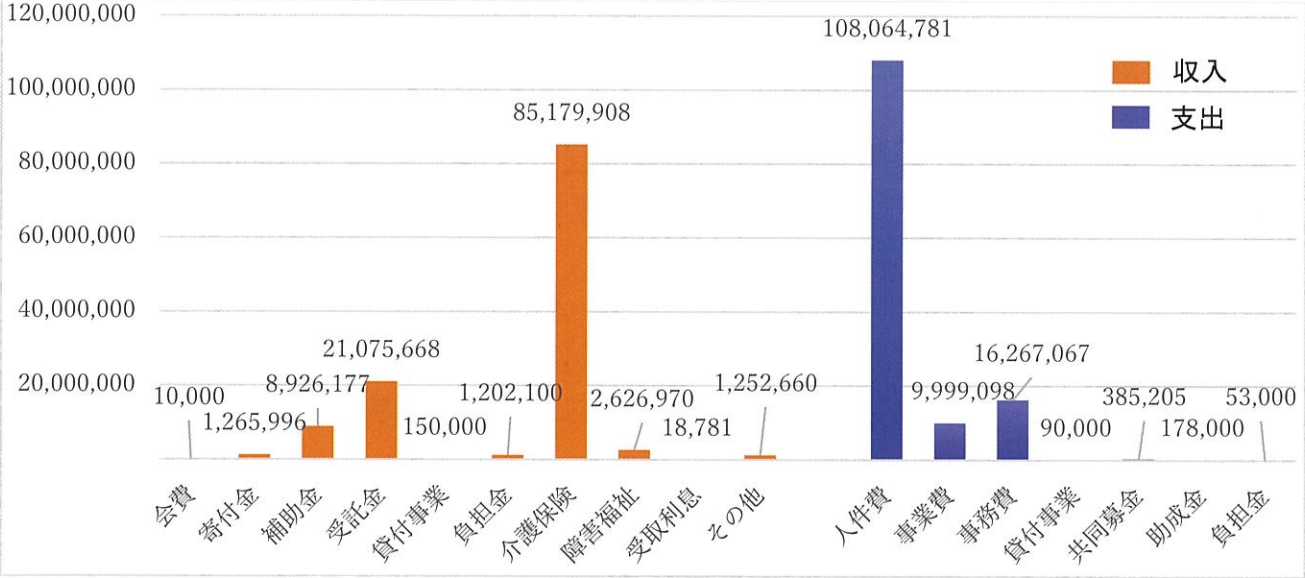
新役員体制

会 長	松本 正美	評議員	石田 恒子	評議員	榊原いづみ（新任）
副 会 長	高橋 政志	評議員	神原 敏子	評議員	玉澤 康子（新任）
副 会 長	吉川 滋政	評議員	澤谷 幸弘	評議員	前原 紀子（新任）
理 事	一戸 良博	評議員	杉山 武美	評議員	本巢ひとみ（新任）
理 事	小林 美代子	評議員	谷川 英樹	評議員	柳瀬 拓生（新任）
理 事	松居 照美	評議員	日田 隆		
理 事	川村 和子（新任）	評議員	三浦 隆之		
理 事	早坂 誠（新任）	評議員	三島 信男		
理 事	山本 明義（新任）	評議員	安原 良雄		（合計 14 名）
常務理事	津澤 安彦				
監 事	徳田 正人				
監 事	飛山 小夜美				
理事 10 名/監事 2 名（合計 12 名）					

◇理事・監事（任期：令和 7 年 6 月 18 日～令和 9 年定時評議員会）					
◇評議員（任期：令和 7 年 6 月 18 日～令和 11 年定時評議員会）					

令和 6 年度決算

収 入 121,708,260 円
支 出 135,037,151 円
差 引 残 高 -13,328,891 円
基 金 取 崩 10,000,000 円
前 期 末 残 高 27,672,792 円
当 期 末 残 高 24,343,901 円



令和 7 年度予算

収 入	会費収入	10,000	支 出	人件費支出	116,105,000
	寄付金収入	700,000		事業費支出	9,861,000
	経常経費補助金収入	9,393,000		事務費支出	19,729,000
	受託金収入	22,106,000		貸付事業支出	200,000
	貸付事業収入	200,000		共同募金事業費	330,000
	事業収入	10,000		助成金支出	168,000
	負担金収入	1,430,000		負担金支出	278,000
	介護保険事業収入	88,630,000		収 入	124,329,000
	障害福祉等事業収入	1,730,000		支 出	146,671,000
	受取利息配当金収入	50,000		差引残高	-22,342,000
その他の収入	70,000	基金取崩	23,027,000		
(単位：円)				前期末残高	20,837,000
				当期末残高	21,522,000

うらさん情報局

＜浦河町生活支援体制整備事業＞

今回は近年、テレビ・ラジオ等で見聞きすることが多くなった「健康づくり」「介護予防」に関連する単語について、いくつか確認してみましょう。

健康づくり・・・身体や心の健康を保つために日常生活の中で行う様々な活動や習慣のことを指す

介護予防・・・要介護にならないため、また要支援でもより重症化しての要介護にならないためのもの

要支援・・・日常生活をほぼ自分ででき、少しサポートが必要な状態

要介護・・・介護が必要な状態のことで介護保険サービスを利用するためには、介護が必要な状態であるという客観的な判定を受ける必要がある

社会活動・・・一般的には、人間によって行われる活動の中でも、社会に参加して社会のために貢献する様なもののことを言う

健康寿命・・・健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間と定義されている

フレイル・・・「虚弱」「衰弱」「脆弱（ぜいじゃく）」などと訳されるが、単に弱っている状態と言う意味のみならず、健康な状態と要介護状態との中間の状態を指す

ロコモ・・・ロコモティブシンドロームの略で、骨・関節・筋肉・神経など運動器の障害により移動機能が低下した状態を指す

いかがでしたでしょうか？ 何かしこで聞く言葉なので何となくわかっているつもりで、聞き流してしまいがちに・・・。
今後は、より深く理解できるかも知れませんね。



はい！ボランティアセンターです！



皆さまこんにちは。「浦河町ボランティアセンター（通称：ボラセン）」は、“ボランティアの心”を広めるために、地域のニーズを積極的に掘り起こし、ボランティアへの興味・関心を高めます。また、やりがいをもってボランティアができるように必要な支援を行い、笑顔あふれる地域づくりに貢献することを目的とします。今年度実施済事業をご紹介します。

〈ボランティアセンター交流事業（町内清掃）〉

社協地域貢献事業と合同で実施。【6/28 開催】

おかげさまで一昨年、昨年に続いて、本年度も天候にも恵まれ無事開催することが出来ました。

本年度は堺町地区スタート！

汗をぬぐいながら社協を目指して歩きました。

- ① ほどほどコース 2.3km（青山歯科さん⇒社協）
- ② ショートコース 1.5km（ふれあい公園⇒社協）
- ③ 社協周辺コースの3方向に分かれ実施し社協車庫内（ゴール）にて収集ごみを皆で分別。



参加された方から「道端は綺麗だけど草むらをちょっと覗くと、空き缶やペットボトル、たばこのフィルターなどが結構あった」等の声があがっていました。ケガもなく、スッキリ笑顔で活動を終えることができました。



給食配食ボランティア募集中！

♡ 浦河町ボランティアセンター（浦河町社協）では、「給食サービス」の活動をサポートして下さるボランティアさんを募集しています。

○ 活動日：火曜日／金曜日（祝日、お盆、年末年始を除く）

※ひと月に1回程度、無理なく活動いただけるよう調整しています。

○ 時間：午後2時30分～午後4時45分

○ 内容：社協の軽自動車に乗り、運転する方とお届けする方2名で利用者（高齢者）宅にお弁当をお届けする活動です。

浦河町内を東部と西部の2コースに分けてお届けします。

「ボランティア体験」、「お試し活動」も可能です！

興味・関心をお持ちの方は、右記へお気軽にご連絡ください。



問合せ

電話：浦河町社協／0146-22-6800



赤い羽根共同募金



— 10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります —

日頃より赤い羽根共同募金運動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

毎年この運動により集められた皆様の温かい善意は、浦河町内で活動する福祉団体や子ども会、サークル等への活動の助成や、福祉施設等の機器・福祉車両購入に助成されるほか、近年、ほぼ毎年発生している災害時の準備金としても活用され、大変役立てられています。

このように共同募金は、様々な「カタチ」で私たちの身近な福祉活動を支えております。引き続き皆さまの温かいご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

【2025 版浦河町限定うららん&かわたん寄付金付きピンバッジ】

～500円以上の寄付でおひとつ差し上げます～

12回目の今年は「浦河の情景シリーズ⑦」。今回は浦河の清らかで美しい自然の中で時折出会え、かわいらしさから雪の妖精とも呼ばれる「シマエナガ」がモチーフです。

浦河町共同募金委員会（社協内）、浦河観光協会、浦河町役場荻伏支所にて取扱いしていますので、ご協力をお願い致します。



浦河町目標額／募金実績額（過去分含む）			
	浦河町共募目標額	募金実績額	達成状況
R2年度	1,239,500 円	721,558 円	…
R3年度	1,105,100 円	1,105,500 円	○
R4年度	1,094,500 円	1,147,270 円	◎
R5年度	1,127,300 円	1,008,677 円	△
R6年度	1,009,600 円	1,058,625 円	◎
R7年度	1,052,600 円	()	

ご協力ありがとうございます

今後ともよろしくお願い
いたします

赤い羽根共同募金は

じぶんの町を良くするしくみ

フードドライブにご協力をお願いいたします

浦河町ボランティアセンター、浦河町社会福祉協議会では、ご家庭で眠っている未使用の食材等をお寄せいただき、地域の子ども食堂や食糧支援を必要としている団体等にお届けします。

フードドライブってなに？

ご家庭で余っている食品等を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体及び福祉的活動、施設、フードバンクなどに寄付する活動のことです。

食べられることなく捨てられてしまう食品(フードロス)と、その日の食を欠く人・必要としている人などと結び、食の不均一を解決するための取組です。

実施日時: 毎月最終週(月～金)

8:30～16:30

受付場所: 浦河町社会福祉協議会
(ボランティアセンター)



●例えばこんな食品！

- 穀類 (お米、小麦粉等)
- 乾物 (麺類、海藻等)
- インスタント・レトルト食品
- お菓子 (クッキー、せんべい等)
- 缶詰・瓶詰
- 調味料 (食用油、醤油、味噌、砂糖等)
- 飲料 (酒類は除く)

※ 賞味期限が1か月以上あるもの

※ 常温保存が可能なもの

※ 未開封のもの



わかもの就労支援事業『こんぱす』

当協議会では、平成24年4月より「浦河町わかもの就労支援事業“こんぱす”(町より委託)」という事業を展開しております。様々なテーマや悩みを持つ10～20代を中心とした若者たちを応援するための事業であり、若者たちのニーズや現状を把握し個々のペースに合わせて「並走(寄り添い)型」の応援をさせていただいており今後の進路選択、ゆくゆく就職活動から就職へと役立てていただけたらと考えております。

なお、利用可能な方の範囲は、原則、浦河町在住の15歳(義務教育修了時)から20歳代としておりますが、対象外と思われる方でもぜひ一度お問合わせ下さい。面接練習、パソコン練習、調理実習なども可能です。

活動例

- ・面接練習 履歴書の練習もできます
- ・パソコン練習 自由に使えるパソコンは2台
- ・調理実習 計画を立てて楽しく作ろう
- ・学習支援 理解できるまで一緒に考えます

など

平日 8:30～17:00(土日祝休み) 相談員が常駐しています。

お金は必要ありません。気軽にご利用ください。

お問合わせ

電話 26-7500

メール urakawa.compass@kind.ocn.ne.jp



ご寄付をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます

(令和6年4月～令和7年3月受付分)

吉津 孝昭 様
福川 佐代 様
中屋 伸逸 様

浦河町商店街連合会 様
浦河町点訳赤十字奉仕団 様

※報道機関への周知をご了承頂いている方のみご掲載しております。



まちがいさがし

わかったかな???



ふたつの絵の中で、違うところを探してみましょう。
まちがいは全部で**7**つあります。



【答えは5ページへ】